

出版メディアとデジタルアーカイブ： 破壊か？ 共存か？

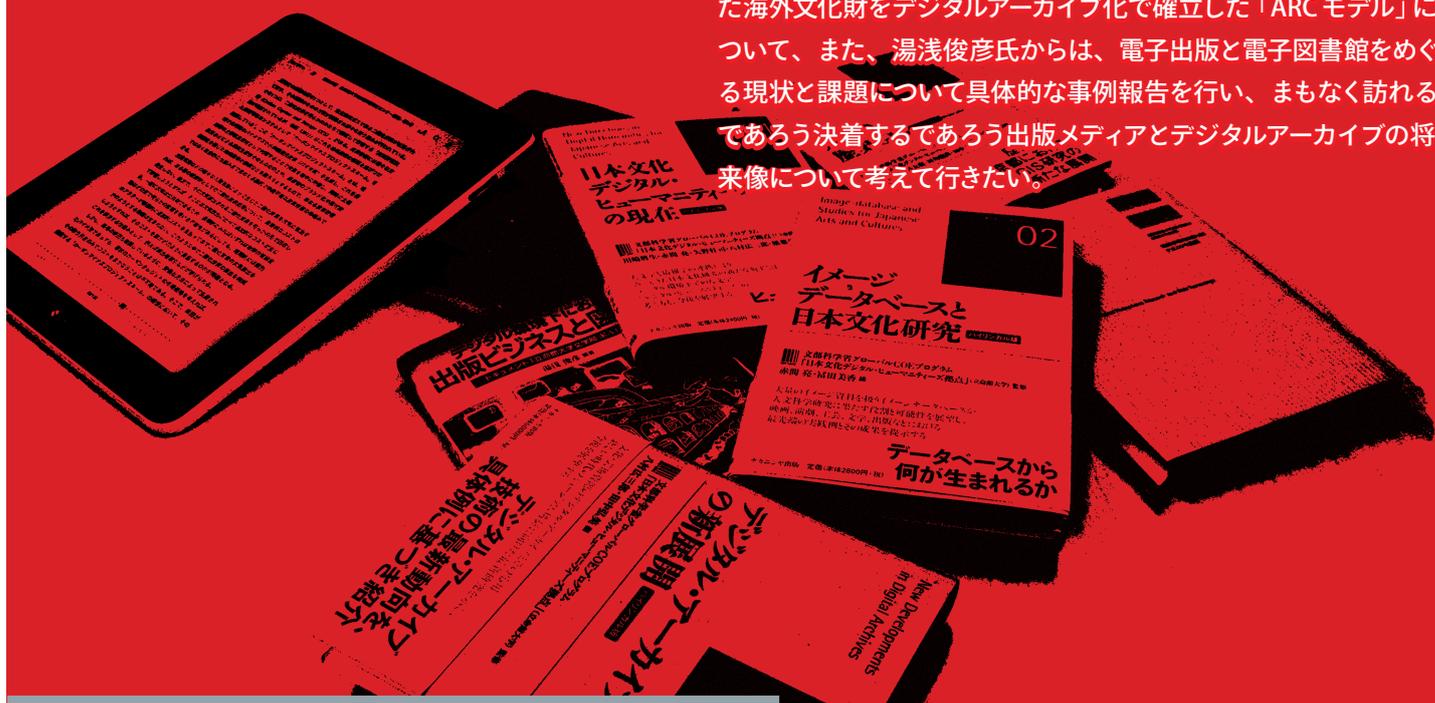
Guest:

赤間 亮 (立命館大学文学部教授)

湯浅俊彦 (立命館大学文学部教授)

これまで出版社が行ってきた復刻・影印などの文化財の複製事業は、1つのビジネスモデルを形成してきた。ところが今日のデジタルアーカイブの進展は、そのような出版ビジネスに大きな影響を与えつつある。

赤間亮氏からは、立命館大学アート・リサーチセンターが行ってきた海外文化財をデジタルアーカイブ化で確立した「ARCモデル」について、また、湯浅俊彦氏からは、電子出版と電子図書館をめぐる現状と課題について具体的な事例報告を行い、まもなく訪れるであろう決着するであろう出版メディアとデジタルアーカイブの将来像について考えて行きたい。



2014年 6月 23日(月) 18:30-20:30

立命館大阪梅田キャンパス 5階 多目的室 (定員60名)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル 5階 TEL 06-6360-4892

予約不要・参加費無料

■ 当日、立命館大学アート・リサーチセンター多目的のルームにて、Ustream中継によるライブビューイングを行います。

【主催】立命館大学大学院 文学研究科 【共催】日本出版学会関西西部会、アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会

【協力】立命館大学アート・リサーチセンター

【問い合わせ】立命館大学文学部事務局 | 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL: 075-465-8187(月～金 9:00-17:30)

